

津久戸

令和4年12月1日

12月号

新宿区立津久戸小学校

未来につなぐ

副校長 清水 敦子

今年の4月からは、感染症予防に留意しながら今まで自粛されてきた教育活動をできるだけ実施してきました。自粛していた2年間は、今まで当たり前経験を重ねてきたことができずに、津久戸らしさがあふれた教育活動が思うように実施できませんでした。リレーで走者が落としたバトン拾って走り直し次の走者につなぐことが容易ではないのと同様に、教育活動も一度やめてしまったことを以前と同じように実施するのは難しいです。この2年間は、今までつないできた伝統がぷつりと途切れてしまう恐れのある期間でした。しかし、今年は、途切れそうになった伝統を未来につないでいく、そんな思いをもって様々な活動に挑戦できています。

学校の伝統をつないでいくためには、お手本になって活動する高学年児童の姿が不可欠です。先輩が生き生きと活動する姿を見せることで「次は、自分が・・・」という思いを下学年につなげていくことができるのです。

今年は、異学年グループによる読み聞かせや学習交流、運動会や阿波踊りなどの全校一斉の行事など、様々な活動を通して『津久戸の伝統をつないでいく』と思いこみ満ちた子供たちの主体的な姿が新たに芽吹いていると感じました。

これからも児童一人一人が輝けるような経験を積み重ね、教職員、児童、保護者、地域の皆様でつないできた津久戸小の伝統のバトンを未来につないでいけるようにしていきたいと思っております。



運動会・阿波踊りを通して

10月29日(土)に、運動会が行われました。3年ぶりに、全校児童が外に出て、応援をしながらという運動会でした。速く走るためには、、、、相手チームより得点を多く取るためには、、、、バトンをうまく渡すには、、、、など、勝つためにはどうしたらよいかを、子ども達に考えさせながら練習に取り組んできました。一つ一つの競技において、「勝って嬉しい！負けて悔しい！お互い頑張ったね！」がたくさん見られた運動会でした。これから大人になるまでの過程で、あるいは大人になってからも、スポーツだけに限らずたくさんの勝負事を経験するだろうと思います。今回の運動会を通して、勝つために全力で取り組むことの大切さや、負けた悔しさを次に生かす不屈さ、ライバルや仲間を称える姿勢を学んだ子どもが多かったのではないかと思います。

11月20日(日)には、商店街での阿波踊りも行われました。運動会が終わってすぐに始まった阿波踊り練習でしたが、かぐら連さんに作成していただいた動画を見ながら、全校で練習に励みました。当日は天候が心配されましたが、雨は降ることはなく予定通り踊りきることができました。子ども達に笑顔で声援を送ってくださる地域・保護者の方々の姿も印象的でした。

新型コロナウイルスの影響によって様々な行事が縮小され続けてきましたが、運動会、阿波踊りと、子ども達が一丸となって運動に取り組む姿から、大きなパワーを感じずにはられません。先の読めない社会状況ですが、これからも、子ども達の支援、指導に全力を注ぎたいと、思えた2つの行事でした。

保護者の皆様には、学校の方針にご理解、ご協力していただき、感謝いたします。今後も、本校の教育活動をあたたかく見守ってくださると幸いです。

主事室から見た子どもたち

毎朝廊下を清掃していると、上履き袋や体操着袋がフックから落ちて見つけます。掃除のために拾い、名前があれば元の位置に戻すことができますが、名前が無ければ困ります。そして主事室に来る子供の問い合わせは、落とし物が多数です。届けることができず、不安な顔を見送るのは残念です。校舎内での落とし物は記名があればすぐに持ち主に届けられますので、ご記名をお願い致します。

これからも心地よい環境作りを通じて子どもたちの成長を応援してまいります。



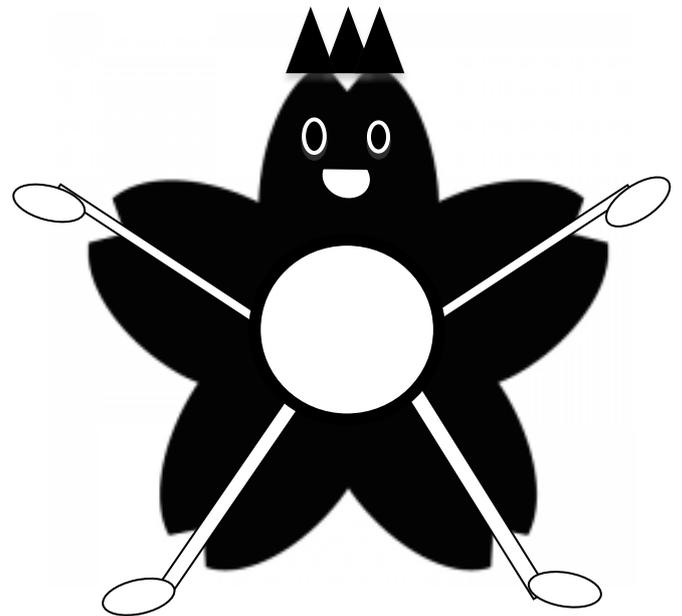
【学年の窓から・・・4年生】

今年も早くも師走を迎え 1 年間の終わりも見えてきました。今年の 4 年生の特に凄いところは、①実行力がある。②期待していたこと以上の成果を出す。ことだと感じています。内藤とうがらしまつりの時には、様々な意見を出し合いました。さらにそれらの案が実現可能なのかしっかり検討を重ねたうえで、一人一人が自分の役割をもって活動する姿が見られました。その結果、自他ともに認める素晴らしい企画となりました。

高学年になると委員会が始まったり、運動会で係活動に取り組んだり、学校全体に関わる仕事をする機会が増えます。この子たちが今の調子で活躍できるよう、残り 4 か月も子どもたちの良いところを伸ばしていけるよう努めます。

With コロナと言われるように、学校生活でも感染予防には十分に注意をしつつ、コロナ前と同じようなことが随分とできるようになってきました。そんな中で感じていることは、4 年生の「声」の団結力です。運動会では、大きな声を出して応援していました。総合で学んだ「内藤とうがらし」の学習では、全校児童に内藤とうがらしのよさを学年集会の群読で伝えました。その後行った内藤とうがらしまつりでは、学んだことをしっかりと自分の言葉で説明していました。そして、阿波踊り。4 年生は、どの学年よりも大きな声を出していたと自負していました。

大きな声を出すことには、一生懸命頑張っている姿が表れます。何事にも全力で取り組む 4 年生らしさが表れていました。4 月からは、高学年として、津久戸小学校をリードしていけると、誇らしく思っています。



12月の生活目標

『身の回りの物を大切に使おう』

- ・自分の持ち物の整理整頓をしよう。
- ・教室をきれいにしよう。
- ・学校をきれいにしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



早いもので、令和 4 年も残り一か月となりました。12 月は身の回りの整理・整頓をして、新しい年を清々しい気持ちで迎えることができるようにしましょう。22 日の大掃除の日前後にも専科の教室や廊下などを掃除します。心地よい片付けの時間を過ごしましょう。

学期末を迎え、少しずつ学習したものを持ち帰ります。まとめて持ち帰ることがないよう、計画的に進めましょう。

生活指導部

〈お知らせ〉

※新型コロナウイルス感染症の警戒レベルなどによって学習や行事等の実施が変更する場合があります。ご了承ください。